

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア






インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/21 （7/14との比較）	7/21 （7/14との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.89% （▲0.01）	88.63円 （▲0.42%）	+2.3% 2017年1Q	0.75%	CPIは低調。小売売上高は市場予想を上回る結果。米国がNAFTA（北米自由貿易協定）再交渉を発表し、注目が集まる中、国債利回りは小幅低下。原油価格が下落する中、カナダドルは対円で下落。	5月GDP（国内総生産）などの発表が予定され、引き続き欧米の金融政策動向、米国の通商政策も注目。新興国の経済や原油価格などもにらみつつ、国債利回りは低下しにくいと想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB	9.23% （▲0.25）	35.37円 （▲0.07%）	-0.4% 2017年1Q	10.25%	政治リスクの後退が好感されたことなどから、レアルは対米ドルで上昇、対円では下落。26日に通貨政策委員会を控える中、追加利下げが見込まれることなどから、国債利回りは低下。	26日に通貨政策委員会の開催を予定。市場ではインフレ統計の低下などを背景に1.0%の政策金利引き下げを見込む。同国の政治リスクへの警戒感が引き続き根強いことから、債券・為替市場ともに神経質な展開を予想。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	6.71% （+0.06）	6.30円 （▲1.69%）	+2.8% 2017年1Q	7.00%	大手格付機関がメキシコの格付け見通しを引き上げ、ペソは一時上昇したものの、週末に原油供給過剰への懸念が高まり、原油価格が下落したことから、ペソは対米ドル、対円ともに下落。国債利回りは上昇。	小売売上高などの発表を予定。市場予想は前年比で大幅上昇を見込む。NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉や、中銀の金融政策の動向をにらみつつ、債券・為替市場ともに神経質な展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/21 （7/14との比較） 今後の見通し （※4）	7/21 （7/14との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.70% （▲0.02）	87.97円 （▲0.15%）	+1.7% 2017年1Q	1.50%	中銀の政策会合議事要旨では、中立金利を巡る議論と明るい経済見通しを示唆。雇用統計は市場予想を下回るも、正規雇用者数増加が好感され、国債利回りは小幅低下。オーストラリアドルは対円で下落。	CPIの発表やFOMC（米連邦公開市場委員会）に注目。米国のバランスシート縮小時期についての見方が交錯し、オーストラリアドルはレンジ内での推移となる可能性。米国の貿易問題の進展や資源価格の推移も注目。
	Aaa	→ 金利横ばい	↗	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.92% （▲0.05）	82.83円 （+0.18%）	+2.5% 2017年1Q	1.75%	4-6月期のインフレ率は市場予想を下回り、サービス業指数はやや低下。一方、隔週開催の乳製品入札の落札価格はやや上昇。インフレ率の下振れを受け、国債利回りは低下。ニュージーランドドルは対円で上昇。	貿易統計が発表されるほか、中銀高官が経済状況について講演を行う予定。景気は総じて堅調に推移しているものの、インフレ率が想定ほど上昇していないため、中銀は現在の金融政策を当面据え置く公算。
	Aaa	→ 金利横ばい	↗	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.66% （▲0.02）	13.75円 （+0.13%）	+2.6% 2017年1Q	0.50%	国内で主だったイベントは無く、債券・為替市場はユーロ圏金融市場や原油価格の影響を受ける展開。ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	景気は回復局面にあるが、そのペースは当面緩やかになる公算。4-6月期の鉱工業信頼感指数、6月の小売売上高、7月の失業率などの経済指標が発表される予定。しかし、景気に対する影響は小さいと予想。
	Aaa	→ 金利横ばい	↗	→ 景気安定	→ 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/21 （7/14との比較）	7/21 （7/14との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BBB-	7.45% （▲0.24）	8.60円 （▲0.24%）	+1.0% 2017年1Q	6.75%	金融政策決定会合で、市場予想に反して中銀は政策金利の引き下げを決定し、国債利回りは低下。ランドは対円で下落、対米ドルでは上昇。	PPI（生産者物価指数）などの発表を予定。インフレ率の鈍化基調で利回りは低下しやすい中、政治的な不透明感も残存することから債券・為替市場ともに不安定な展開を予想。
	Baa3	 金利上昇		 景気鈍化	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	6.77% （▲0.05）	0.83円 （▲1.30%）	+5.0% 2017年1Q	4.75%	市場予想通り、中銀は政策金利を据え置き、ルピアの安定性を重視する姿勢が継続。先進国での国債利回り低下に追随し、国債利回りは低下。市場の円高傾向を受けて、ルピアは対円で下落。	主要な経済指標の発表はなし。米国債利回りが低水準で推移する中、相対的な利回り水準の高さが選好され、海外からの資金が流入しやすい地合いを予想。ルピアは底堅く推移する見込み。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.51% （▲0.06）	1.73円 （▲1.31%）	+6.1% 2017年1Q	6.25%	大統領選挙は市場予想通りコビンド氏が当選。同国では首相が実権を掌握するが、与党推薦候補の当選による政権基盤安定への期待から、国債利回りは低下。ルピーは対米ドルで上昇、対円では下落。	主要な経済指標の発表はなし。同選挙結果を受けて一部メディアは2019年下院選挙での与党勝利の可能性を報道。国内外ともに材料が少なく、債券・為替市場はともに動意の欠ける展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

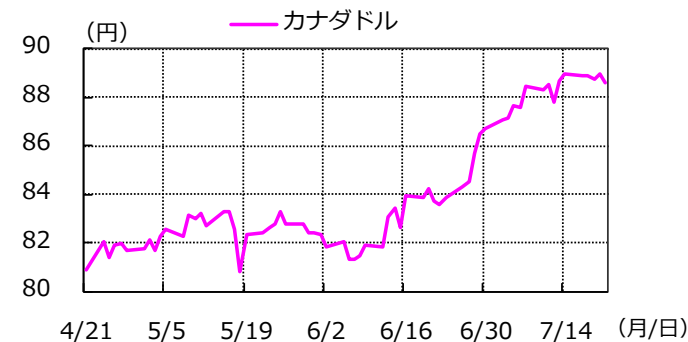
（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

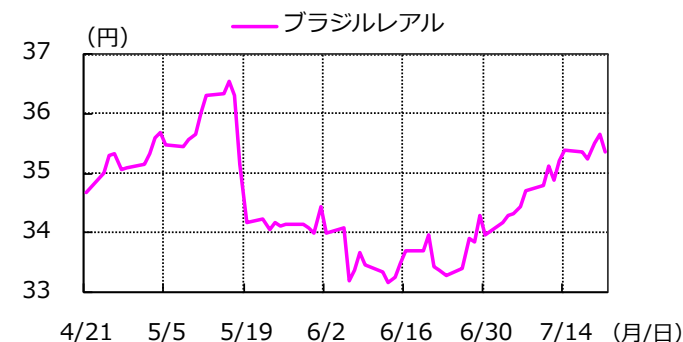
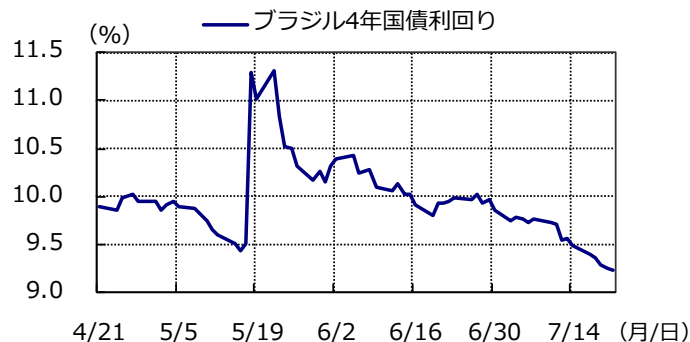
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/4/21～2017/7/21

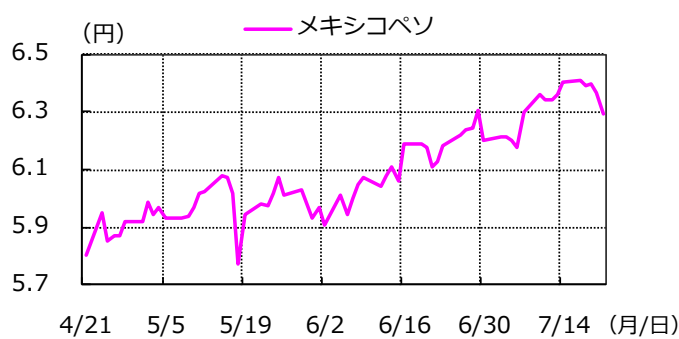
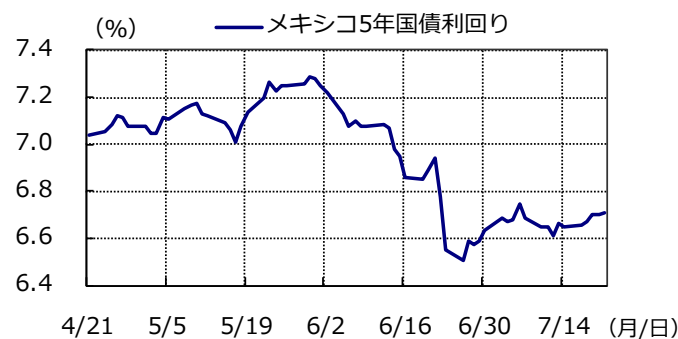
カナダ



ブラジル



メキシコ

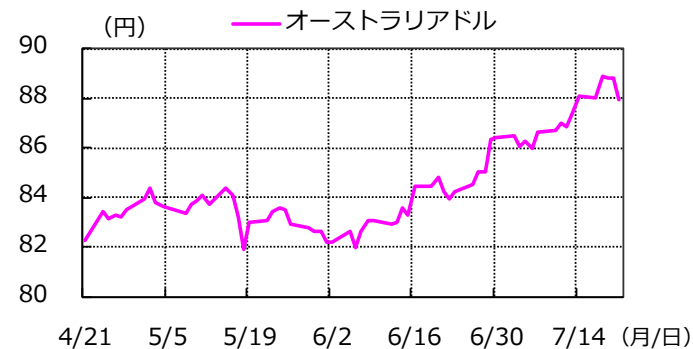
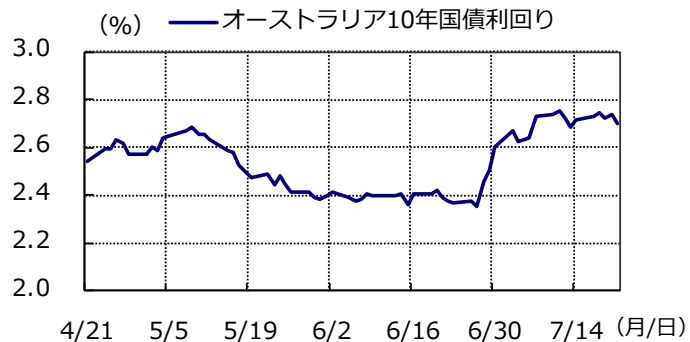


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

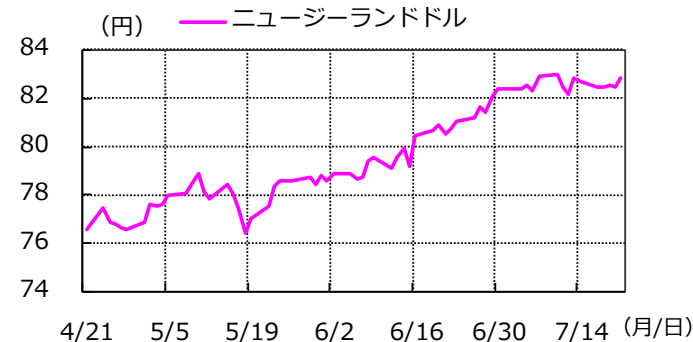
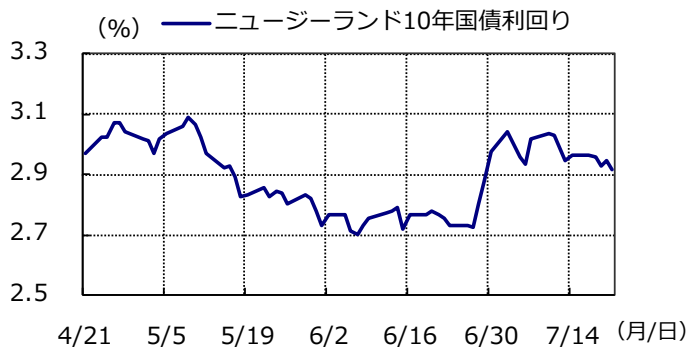
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/4/21～2017/7/21

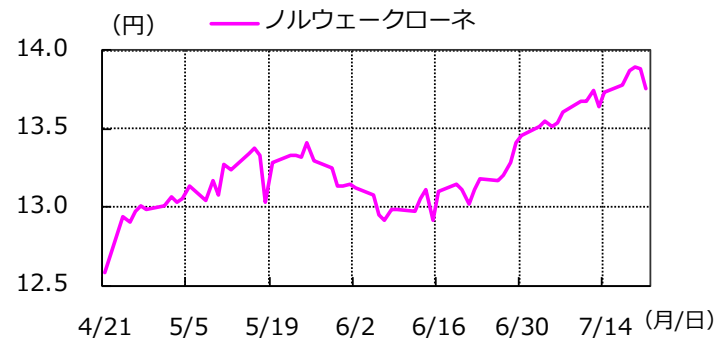
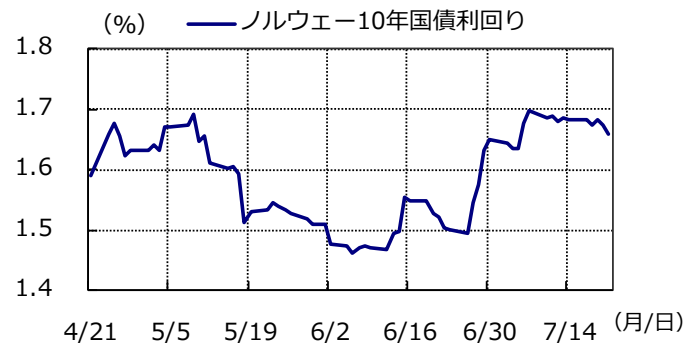
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

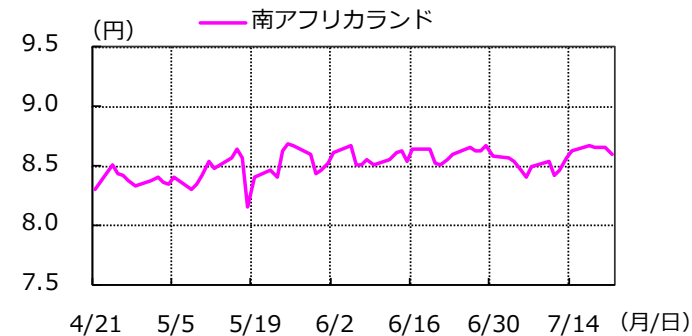
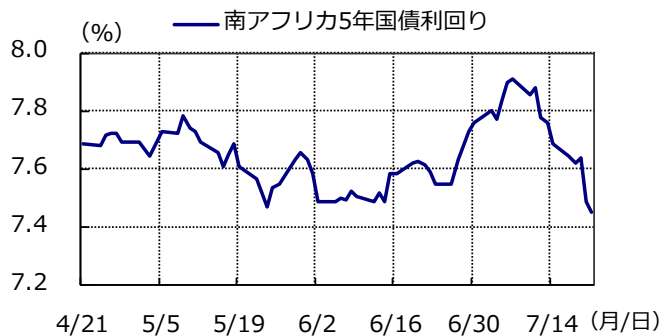


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。(出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成)

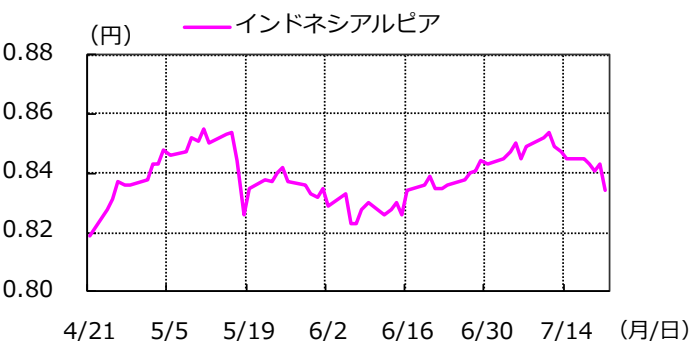
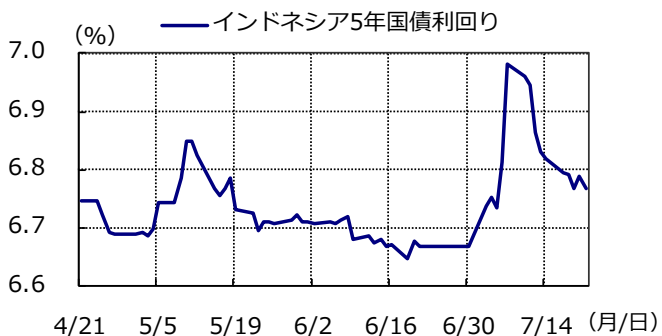
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/4/21～2017/7/21

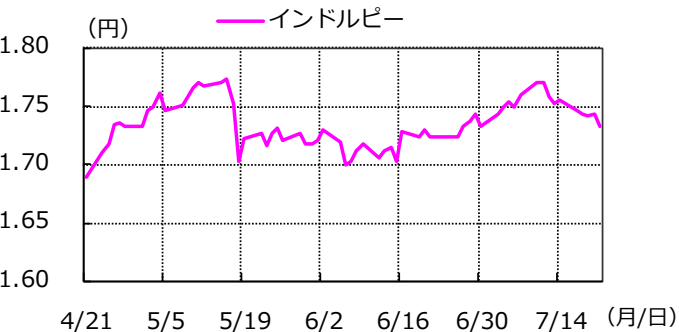
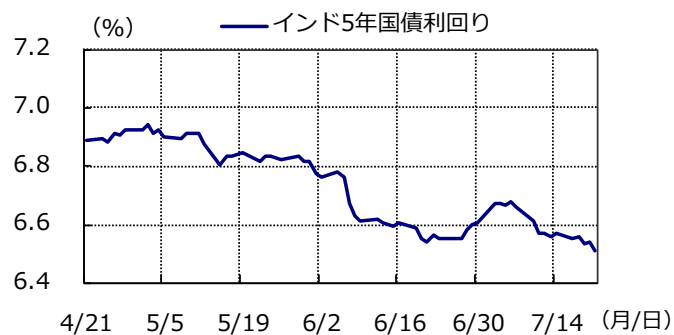
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。